

秋田県立大学研究データ管理・公開ポリシー

令和7年3月19日
研究・地域貢献本部

(趣旨)

秋田県立大学(以下、「本学」という。)は、基本理念の一つに「先端的な科学の研究及び技術の開発を行うことにより、地域産業の高度化を通じた本県の産業振興に寄与するとともに、県民に対して生涯にわたる高度な教育機会を提供することにより、本県の持続的発展に大きく貢献すること。」を掲げている。本学の研究過程において生み出された多様な研究データを適切に管理し、また公開することにより社会と共有し、その利活用を促進することは、研究データの価値を守り高めることであり、それにより、本県はもとより豊かな未来社会への実現に資することができる。

以上をふまえ、研究データの管理及び公開に関する基本方針を以下のとおり定める。

(研究データの定義)

本ポリシーが対象とする「研究データ」とは、本学における研究活動の過程において、研究者によって収集あるいは生成された情報を指す。

(研究データの管理・公開)

研究データの管理方法及び公開の可否は、それを収集または生成した研究者が決定する。研究者は、研究データの価値を守り高めるため、それぞれの研究分野における法的及び倫理的要件、学内外の規則等に従って研究データを管理し、可能な限り公開する。

(研究者の責務)

研究者は、優れた研究を行う上で研究データを適切に管理・公開することで社会の発展に貢献する責務がある。

(大学の責務)

本学は、研究データの管理ならびに公開及び利活用を支援する環境を整える責務がある。

附 則

本ポリシーは令和7年4月1日から施行する。